

1 「消費者啓発の標語」受賞者・入選作品

自分で考え行動する「自立した消費者」が主役となる社会の実現を目指し、消費生活の問題を考えるきっかけづくりを目的に募集した「消費者啓発の標語」について、部門別に、最優秀賞、優秀賞、佳作を各1点ずつ決定（全9作品）

【参考】○応募作品数 1,294

（部門別内訳）

A：AI時代の消費行動 477

B：エシカル消費 393

C：消費者被害防止 424

A AI時代の消費行動 部門		氏名	学校名	学年
最優秀賞	情報も 最後は自分の 確かな目	ふじい 藤井 みづき 美月	山口県立 西京高等学校	2
（選定理由） AI時代の情報リテラシーの重要性を「最後は自分で判断する」という視点から分かりやすく表現し、最終判断は自分という本質を捉えた完成度の高い標語となっています。				
優秀賞	AIは うまくつかうと 良い相棒	かげはた 影畑 あきとし 彰俊	柳井学園高等学校	2
佳作	たちどまれ！ その情報 フェイクじゃない？	はしもと 橋本 ちさと 千聖	山口県立 高森みどり中学校	2

B エシカル消費 部門		氏名	学校名	学年
最優秀賞	買い過ぎず 使って残さず ごみゼロへ	はせがわ 長谷川 ここみ 心夢	誠英高等学校	1
（選定理由） 「買いすぎず」「使って」「残さず」という消費者の具体行動を分かりやすく示し、明確なメッセージ性と心地よいリズムで心に響く印象的な標語となっています。				
優秀賞	買う責任 未来につながる その選択	まつだ 松田 ゆな 優奈	山口県立 西京高等学校	2
佳作	捨てるまで 考えてこそ 本当の消費	まつい 松井 なほ 那帆	誠英高等学校	1

C 消費者被害防止 部門		氏名	学校名	学年
最優秀賞	怪しいな 感じた時点で まず相談	いちかわ 市川 まい 麻衣	柳井学園高等学校	3
（選定理由） 「怪しいな」という身近な言葉で違和感時の「まず相談」を具体的に促しており、被害を未然に防ぐための実践的で啓発力に優れた標語となっています。				
優秀賞	騙されない その自信が 命取り	おかもと 岡本 らふと 雷風翔	誠英高等学校	1
佳作	画面越し 会わぬ相手を 信じない	いくた 生田 はると 悠斗	柳井学園高等学校	2

※入選作品は、県消費生活センターのホームページに掲載するとともに、各種啓発講座で紹介するなど、消費者への啓発活動に活用します。

2 「１８８見守りサポーター」表彰の受賞事業者

悪質商法等の消費者被害から高齢者等を守るため、日常業務の中で高齢者等への声かけや見守りなどを行う「１８８見守りサポーター」登録事業者の中から、他の模範となる積極的な活動を行う事業者を表彰

受賞事業者	活 動 内 容
株式会社ピーエー	高齢者宅への訪問時に不審な電話や訪問販売の兆候がないか細かく目配りし、チラシを活用しながら消費者被害に遭わないよう積極的に注意喚起を行っている。 また、自宅で安心して暮らせるための防犯サポートとして、留守番電話モニターの設置促進に力を入れている。
佐西きずな会岩国支部	市民後見人普及活動や認知症サポーターキャラバン活動等を通じて、消費者被害に関する注意喚起の声かけを日頃から意識して行い、トラブルが疑われる場合、公的機関に通報する体制を整備している。 また、消費生活センターの講座を積極的に受講するなど最新の消費者被害についての情報収集や知識の習得に努めている。